

(参考資料3) 川崎市消費者行政の沿革

昭和40年	4月	1日	経済局商政課消費経済係設置
昭和44年	4月	1日	経済局消費経済課(消費経済係、指導相談係)新設
昭和46年	10月	15日	指定都市移行に備えた機構改革により、新設された市民局に移管 市民局市民部消費生活課と名称変更(消費生活係、指導相談係)
昭和47年	4月	1日	政令指定都市移行
昭和49年	10月	8日	「川崎市消費者の利益の擁護及び増進に関する条例」を公布 消費生活課に物価係を新設(消費生活係、指導相談係、物価係)
昭和50年	3月	20日	川崎市消費者保護委員会発足
昭和58年	9月	1日	機構改革により消費生活課は消費生活係と調査係の2係に編成 消費生活センターを新設(中原区新丸子東3-473-2 中小企業・婦人会館内)
平成3年	4月	1日	消費生活課に経済局商政課物価対策班を編入
平成7年	4月	1日	機構改革により消費生活課と消費生活センターを統合。消費者行政センター (消費生活係、相談検査係、調査係、企画班)と名称変更(川崎区東田町6-2 ミヤダイビル2階に移転)
平成9年	4月	28日	消費者行政の充実を図るため移転 (川崎区砂子1-10-2 ソシオ砂子ビル6階)
平成12年	4月	1日	川崎市北部消費者センター(高津区溝口1-6-12 神奈川県高津合同庁舎3階) を設置
平成13年	4月	1日	「川崎市消費者の利益の擁護及び増進に関する条例」を一部改正
平成16年	6月	2日	「消費者基本法」施行
平成17年	4月		国が消費者施策推進のための消費者基本計画(2005~2009年度)策定
		9月30日	「川崎市消費者の利益の擁護及び増進に関する条例」を一部改正 消費者保護委員会を消費者行政推進委員会へ名称変更
平成20年	3月		川崎市消費者行政推進基本計画(2008~2010年度)策定
	4月	1日	機構改革により、経済労働局に移管 消費者行政センターに北部消費者センターを統合 電子メール相談、区役所相談を開始(中原区、高津区、多摩区)
平成21年	4月		毎週金曜日の電話相談を19時まで延長
	9月	1日	消費者庁・消費者委員会の設立、「消費者安全法」施行
平成22年	3月		国が新たな消費者基本計画(2010~2014年度)策定
平成23年	3月		川崎市消費者行政推進計画(2011~2013年度)策定
平成24年	12月		「消費者教育の推進に関する法律」施行
平成26年	3月		川崎市消費者行政推進計画(2014~2016年度)策定
平成26年	8月	18日	市役所本庁舎建替工事のため移転 (川崎市川崎区駅前本町11-2 川崎フロンティアビル10階)
平成27年	3月		国が新たな消費者基本計画(2015~2019年度)策定
平成28年	3月	24日	「川崎市消費生活センター条例」公布
平成28年	4月	1日	毎週土曜日電話相談(10時から16時まで)を開始
平成29年	3月		川崎市消費者行政推進計画(2017~2019年度)策定
平成30年	4月	1日	毎週土曜日電話相談(10時から16時まで)を本格実施
令和2年	2月		川崎市消費者行政推進計画令和2(2020)年度~令和4(2022)年度策定
令和2年	3月		国が新たな消費者基本計画(2020~2024年度)策定
令和3年	6月		国が消費者基本計画(2020~2024年度)を改定
令和4年	4月	1日	計量検査所が消費者行政センターに編成